

発行人：齊藤しんじ 横浜市議員 公明党都筑支部長

ハマ弁の改善が進みます

横浜市立中学校の昼食である「ハマ弁」が利用しやすくなります。

●当日注文が可能に！

7月からモデル校で当日注文の対応を行います
9月からは全校で対応できるよう進める予定です。

齊藤しんじ

がやりました！

●4月より価格が引き下げになりました！

米飯、おかず、汁物、牛乳のセットの場合

470円→340円



●さらなる改善の取組み

おかずも温もりのある状態で提供できるよう検討し、9月から実施できるよう取り組みます。メニューについても、栄養バランスを取りつつ、生徒によろこばれるおいしくて魅力のあるものを提供していけるよう提案していきます。

【ハマ弁の誤解を招く報道について】

最近、新聞、テレビでハマ弁はことさらに問題があるように報道されています。現在の喫食率の低さだけを見て、いい面は全く報道しない姿勢は、市民のためになるとは言えません。

◆1食あたりの税金(公費)負担について

ハマ弁の運営には、注文システムのサーバレンタル費用や配送・受渡しなどの経費が必要になります。これらは食数が変わっても必要な費用です。4月の喫食率(1.7%)で計算すると1食あたり2644円となりますが、今年度は、喫食率を段階的に10%に上げる想定です。その場合、公費負担は642円となります。一時的な1食当りの費用を強調するのは正しい批判となりません

◆完全給食にした方が良いのでは？との考え方について

中学校には給食設備を作るスペースがないので、多額の施設整備費が必要になります

給食 ⇨ 施設整備をした場合 約260億円 年間の運営費 約50億円

ハマ弁 ⇨ 施設整備の必要性はありません 年間の運営費 約5億円

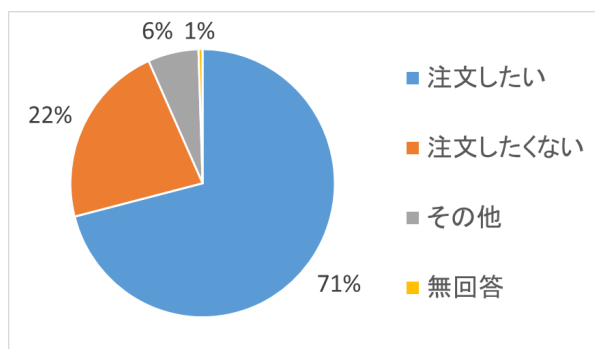
また、完全給食時には先生や生徒の負担(配膳・片づけ等々)が大きく、授業のカリキュラムまで影響が出るとの懸念があります

齊藤しんじは今年度「**こども青少年・教育委員会**」の**委員長**を務めることになりました。更に、子育て、教育の分野で政策の実現をリードしていきます！

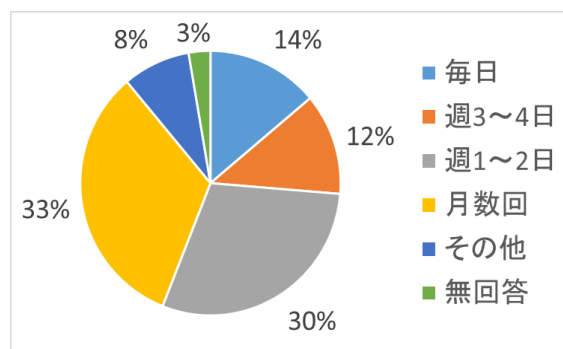
【公明党の教育・子育て分野の取組み経緯】

ハマ弁

中学校の完全給食(主食、おかず、牛乳がそろった給食)の実施校は全国的に増加してきましたが、横浜市のような大都市では莫大な費用がかかるため実現が困難でした。そこで、公明党横浜市議団は、20年以上前から、共働き家庭が増える状況など社会の変化に対応できる「**横浜方式スクールランチ**」を提言してきました。議会で議論し、教育委員会でも検討を重ねながら現在の**ハマ弁**をはじめました。導入前の平成26年、生徒と保護者等へのアンケート調査(下図参照)で喫食率が20%程度になるとの想定でスタートしました。



(栄養バランスのとれた温もりのある昼食について)



(何回くらい注文したいですか)

同様な制度(スクールランチ方式、ランチボックスタイプ)を実施している他市は名古屋市、京都市、神戸市などがあります。

小児医療費助成制度

公明党市議団が、平成4年にはじめて制度の導入を提案しました。平成7年に0歳児の助成がスタートし、以来対象年齢の拡大を推進してきました。齊藤しんじも議会の中で制度の拡充を求めてきました。昨年4月には、小学6年生まで拡大しました。そして、**来年4月から**、これまで求めてきた**中学3年生まで**拡大されます。現在小学4~6年生は一部窓口負担(1通院500円まで)が必要であり、また家計の所得制限がありますので、今後一部負担なし、所得制限撤廃も目指していきます。

